

SGLT2 阻害薬投与における効果と安全性についての検討

1. 背景および試験実施の意義・必要性

欧米においては SGLT2 阻害薬の使用量が増大しており、その効果と安全性については EMPA-REG OUTCOME 試験等で報告されている。しかしながら本邦においては、SGLT2 阻害薬の有効性と安全性に関する報告が少なく、日本人の実臨床下での検討が必要である。

2. 研究の詳細

今回の試験では、SGLT2 阻害薬の効果と安全性を評価することを目的とする。当院で SGLT2 阻害薬を使用した 2 型糖尿病患者で、代謝パラメータを後ろ向きに検討することにより、その効果と安全性に関して評価する。

3. 目標症例数と研究実施期間

当院で SGLT2 阻害薬を使用した 2 型糖尿病患者を対象とする。

目標症例数は 100 症例とする。

調査期間：2014 年 4 月 1 日～2016 年 7 月 31 日

研究期間：2016 年 8 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

4. 研究実施者及び連絡方法

研究責任者：地域医療機能推進機構金沢病院 内科 診療部長 古川 健治

研究分担者：山秋直人、奥田理香、大山公典、岡田守弘

TEL：地域医療機能推進機構金沢病院 （代表）076-252-2200